

サド侯爵夫人展

世界中で愛された三島戯曲の最高峰……

日本での躍進……世界への飛翔……



日本編 平成24年6月30日④~平成25年1月27日④

世界編 平成25年2月5日④~平成25年6月30日④

徳富蘇峰館 (三島由紀夫文学館隣り) にて開催

山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-296 TEL0555-20-2655 <http://www.mishimayukio.jp/>

入館料:大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円 ※10名様以上から団体料金(50円引) ※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館 両館共通チケット / 開館時間:10時~16時30分(入館は16時まで)
休館日:月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、12月29日~1月3日、資料点検日(不定期) ※4月28日~5月6日の間は月曜日も開館 主催:山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・山中湖村教育委員会

三島戯曲の最高傑作

三島由紀夫の最高傑作といわれる戯曲「サド侯爵夫人」。昭和40年に発表、上演されると、その反響は大変大きく、日本のみならず世界でも数多く上演されるようになりました。国内外で高く評価され、今でもその人気は根強いままです。

三島由紀夫は、友人である澁澤龍彦の「サド侯爵の生涯」に着想を得て、この戯曲を書き上げました。三島の戯曲には『サド侯爵』は登場せず、夫人を含む女性6人の言葉のみで、サド侯爵の姿が描き出されています。「言葉による演劇」であるが故に、役者泣かせで、体力の消耗が激しいことから、上演日程を余り長くはできないとさえ言われています。



▲ サド侯爵夫人初版本



▲ サド侯爵夫人初出雑誌（「文芸」昭和40年11月1日 4巻12号）▲

サド侯爵夫人展



▲ サド侯爵夫人原稿 ▼



「サド侯爵夫人」は、男性6人で女装して演じられることもあり、最近では、東山紀之や平幹二郎、生田斗真出演で上演されています。また、今年の3月には、蒼井優主演で演じられ、話題となりました。

この度の企画展では、「サド侯爵夫人」の初版本、初出雑誌、限定本などの資料をはじめ、上演チラシ、パンフレット、ポスター、レコード、契約書類、舞台写真などを、日本での上演と世界での上演にわけて取り上げます。

また、「サド侯爵夫人」誕生のきっかけとなった澁澤龍彦との関係に関する特設コーナーを設けました。

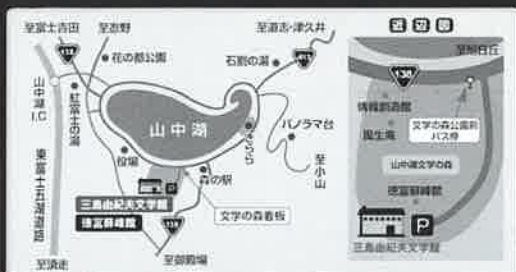
ぜひ「サド侯爵夫人」の世界を味わってください。

日本編 平成24年6月30日(土)~平成25年1月27日(日)

世界編 平成25年2月5日(火)~平成25年6月30日(日)

※基本資料と特設コーナーに関しては、日本編、世界編通して展示致します。

徳富蘇峰館（三島由紀夫文学館隣り）にて開催



交通のご案内

路線バス 富士山駅(富士吉田)から25分、樹殿場駅から40分
文学の森公園前バス停下車 徒歩5分
高速バス 中央高速バスで山中湖(旭日丘)バスターミナル下車 徒歩15分
マイカー等 山中湖ICから国道138号線山中湖方面へ4km

休館日

月曜日（祝祭日の場合はその翌日）、12月29日~1月3日、資料点検日（不定期）
※4月28日~5月6日の間は月曜日も開館

入館料

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	500円	300円	100円
団体	450円	250円	50円

※団体は10名様以上 ※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館 両館共通チケット

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-296
TEL0555-20-2655 FAX0555-20-2656
<http://www.mishimayukio.jp/>

山中湖文学の森 三島由紀夫文学館